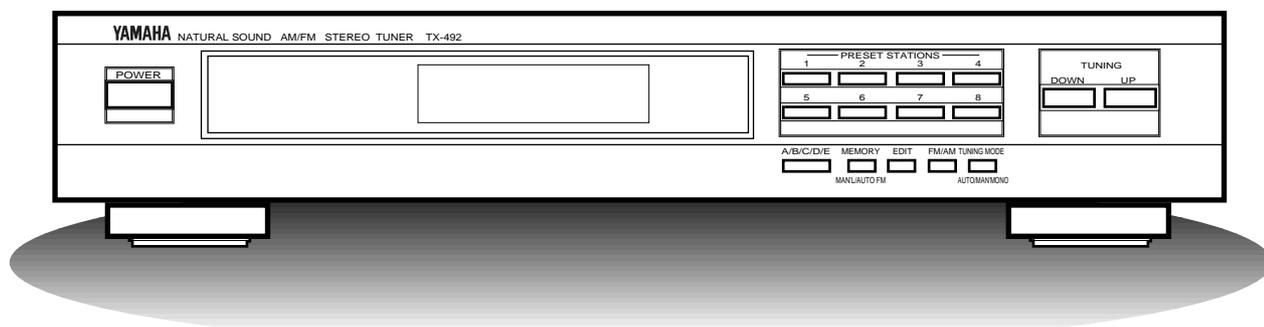


# YAMAHA

## NATURAL SOUND AM/FM STEREO TUNER

# TX-492

### 取扱説明書



このたびは、YAMAHA AM/FMステレオチューナーTX-492をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

TX-492の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に保管してください。

保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

ご使用前に必ずお読みください

# 安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置される時		使用中に異常が発生したとき		
	<p>本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。表示された電源電圧交流100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。</p> <p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p>		<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
	<p>風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>		<p>万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
ご使用になるとき			<p>万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
	<p>本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p> <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>			<p>絵表示の例</p> <p>指を挟まれな いよう注意</p>
	<p>本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>			<p>分解禁止</p> <p>⊙記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p> <p>記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。</p>



# 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

設置されるとき		ご使用になるとき	
	<p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。</li> <li>・ テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。</li> </ul>	 <p>接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>	
	<p>旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p>		
	<b>お手入れについて</b>		
	 <p>1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。</p>	 <p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>	
 <p>本機を設置する場合は、間隔をおいてください。放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。</p>			
 <p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p>			

# 目次

安全上のご注意 .....	2
接続のしかた .....	5
各部の名称とはたらき .....	7
選局のしかた .....	8
プリセットのしかた .....	10
故障かなと思ったら .....	13
参考仕様 .....	14
ヤマハホットラインサービスネットワーク .....	15



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」  
キャンペーンのシンボルマークです。  
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

はじめに、次のことをお確かめください。

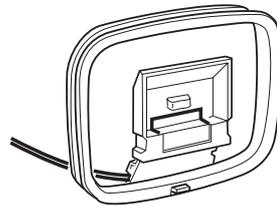
1 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか？

2 付属品はすべてそろっていますか？

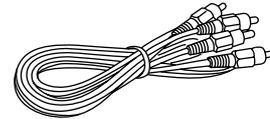
FM簡易アンテナ



AMループアンテナ



出力コード



# 接続のしかた

接続の際は、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。

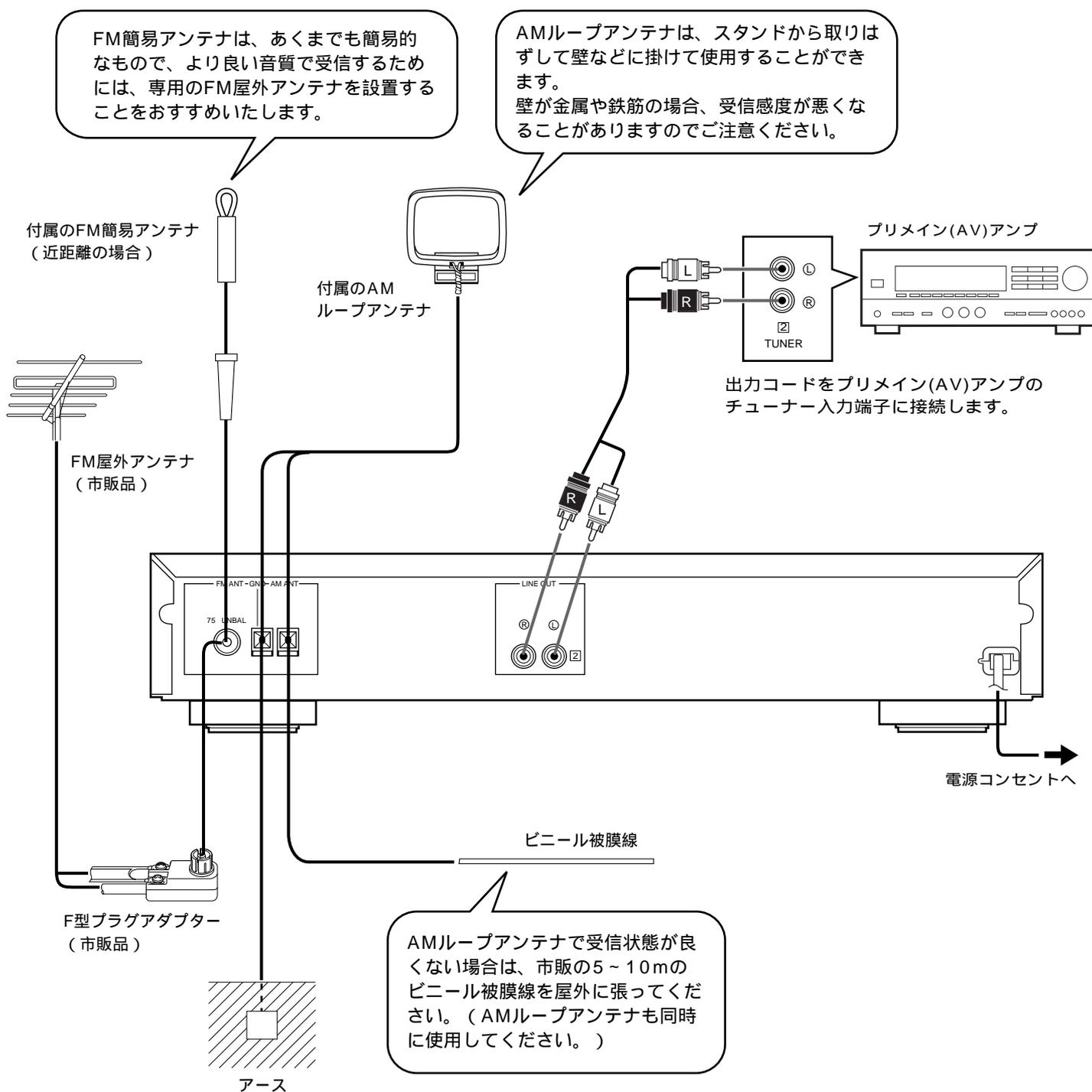
ヤマハプリメイン(AV)アンプと接続する場合は、アンプと本機の同じ番号(2)のついた端子どうしを接続してください。接続する機器によって接続方法や端子名が異なることがあります。接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

出力コードの白いプラグをLINE OUT端子のL(左)チャンネルに、赤いプラグをR(右)チャンネルに確実に差し込んでください。不完全に接続すると、音が出なかったり、雑音の原因となります。

出力コードを電源コードやプリメインアンプのスピーカーコードと一緒に束ねたり、丸めたりしないでください。雑音の原因となることがあります。

接続が終わったら正しく配線されているかを確認し、本機の電源コードを電源コンセントに接続します。

本機が他の機器(テレビ、CDプレーヤーなど)に影響を与えてしまうときは、本機と他の機器の距離を離してください。

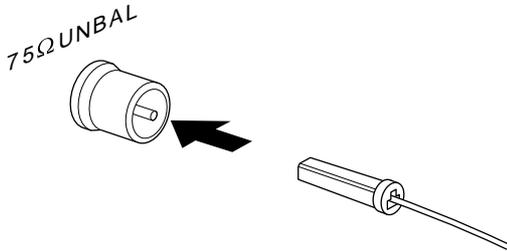


# 接続のしかた

## FMアンテナの接続

### FM簡易アンテナの接続

付属のFM簡易アンテナは、電波状況が非常に良い地域で受信する場合にご使用ください。



### FM専用屋外アンテナについて

FM放送を良好に受信するためには、FM専用屋外アンテナを設置することをおすすめします。

また、FM電波は受信する地域の状況(放送局からの距離、ビルや山のかげなど)によって、良好な受信ができにくい場合があります。ご使用になる地域の状況に合ったアンテナを設置してください。

FM専用屋外アンテナは、自動車のイグニッションノイズの影響を受けないよう、道路から離れたなるべく高いところに設置してください。

### FM専用屋外アンテナの接続

アンテナの接続には75 同軸ケーブルをご使用ください。また、アンテナと本機との間隔が長い場合は、ケーブル伝送中の電波減衰が少ない5C2Vケーブルの使用をおすすめします。

FM屋外アンテナを接続したときは、付属のFM専用簡易アンテナは接続しないでください。

電波状況が非常に良い地域では

TVのVHFアンテナを本機のFM用アンテナとして使用することができます。アンテナをTV受像機と本機で共用する場合は、市販の分配器をご使用ください。

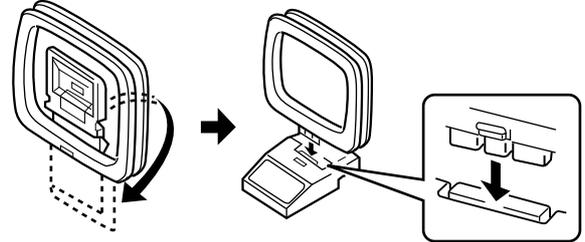
詳細は分配器の取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

近くに放送局があるような強電界地域では、多素子のアンテナやブースター(増幅器)を使うと、電波が強すぎて、かえって良好な受信ができなくなることがあります。

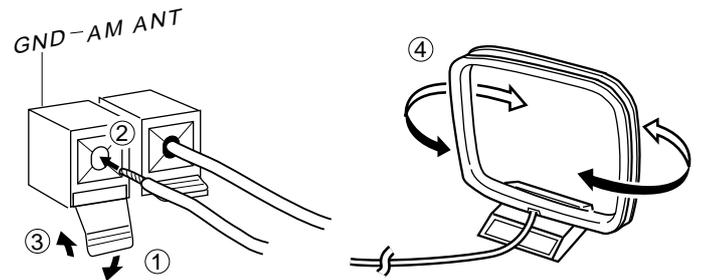
## AMループアンテナの組立と接続

### 組み立て



付属のAMループアンテナをAM ANT端子に接続します。

- ① AM ANT端子とGND端子のレバーを下げます。
- ② AMループアンテナのコードをAM ANT端子とGND端子に差し込みます。(コードに極性はありません。)
- ③ レバーをロックするまで引き上げます。
- ④ アンテナを左右に回し、受信状態が最も良くなる方向に向けます。



受信状態が最もよくなる位置に動かしてください。

### ご注意

AMループアンテナは本機から離して設置してください。AMループアンテナで良好な受信ができない場合は、AM ANT端子に5mから10mのビニール被覆線を接続し、窓際から屋外に張ってください。(このときAMループアンテナも必ず接続しておいてください。)

## アースについて

通常受信では必要ありませんが、雑音防止と安全のために地中アースを取ることをおすすめします。

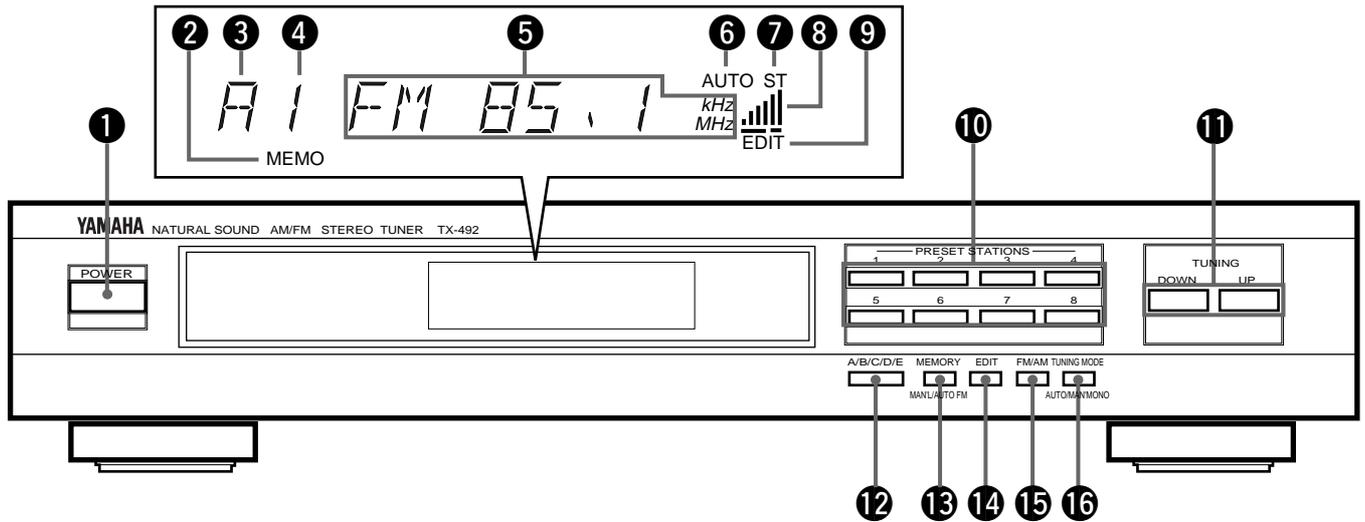
アースは市販のアース棒か銅板に、ビニール被覆線を接続し、湿気の多い地中に埋めてください。

GND端子に2本以上のコードを接続する場合は、よじて1本にまとめてください。

### ご注意

アースを水道管やガス管に取り付けることは、感電や火災などの危険防止のため絶対おやめください。

# 各部の名称とはたらき



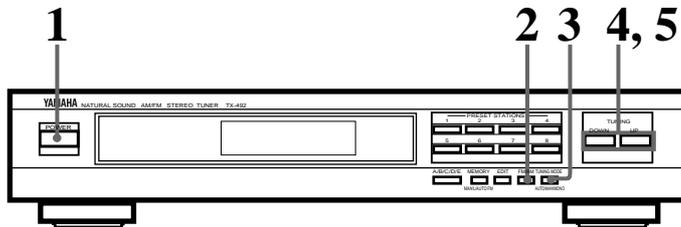
- ① **パワースイッチ (POWER)**  
本機の電源を入/切します。
- ② **メモリーインジケータ (MEMO)**  
メモリーキーを押すと点滅します。
- ③ **プリセットグループインジケータ**  
プリセットステーションのグループ (A, B, C, D, E) を表示します。
- ④ **プリセットステーション番号インジケータ**  
プリセットステーション番号 (1 ~ 8) を表示します。
- ⑤ **受信周波数インジケータ**  
FMまたはAM放送の周波数を表示します。
- ⑥ **オートチューニングインジケータ (AUTO)**  
チューニングモードキーでオート選局モードを選ぶと点灯します。
- ⑦ **ステレオインジケータ (ST)**  
ステレオで受信すると点灯します。
- ⑧ **シグナルクオリティインジケータ**  
受信している放送電波の強さを表示します。
- ⑨ **エディットインジケータ (EDIT)**  
エディットキーを押すと点滅します。
- ⑩ **プリセットステーション番号キー (PRESET STATIONS 1 ~ 8)**  
プリセットステーション番号を選びます。
- ⑪ **チューニングキー (DOWN/UP)**  
DOWN:  
オート選局モードでは、低い周波数に向かって放送局を受信するまで探します。  
マニュアル選局モードでは、1回押すごとに1ステップずつ周波数が下がり、押し続けると連続して下がります。  
UP:  
オート選局モードでは、高い周波数に向かって放送局を受信するまで探します。  
マニュアル選局モードでは、1回押すごとに1ステップずつ周波数が上がり、押し続けると連続して上がります。
- ⑫ **A/B/C/D/Eキー**  
プリセットグループ A, B, C, D, E) を選びます。キーを押すごとに、A B C D E Aの順に切り換わります。
- ⑬ **メモリーキー (MEMORY)**  
放送局をメモリー (プリセット) するときに使います。3秒以上押し続けると、FM放送局を自動的にプリセットするオートプリセット選局になります。
- ⑭ **エディットキー (EDIT)**  
プリセットした局の場所を入れかえるときに使います。
- ⑮ **FM/AMキー**  
FMとAMを切り換えます。
- ⑯ **チューニングモードキー (TUNING MODE AUTO/MAN'MONO)**  
オート選局モード (AUTOインジケータ点灯) とマニュアル選局モード (AUTOインジケータ消灯) を切り換えます。  
オート選局モード (AUTO)  
チューニングキーを押すと自動的に受信するまで探します。  
マニュアル選局モード (MAN'MONO)  
チューニングキーを1回押すと1ステップずつ押し続けると連続して周波数が変わります。オート選局モードでは受信できない電波の弱い局も受信できます。マニュアル選局では、ステレオ放送を受信してもモノラルになります。

# 選局のしかた

電波の強い放送局を受信するにはオート選局が速くて便利ですが、電波の弱い放送局は受信できないことがあります。このようなときはマニュアル選局(次頁)で受信してください。

## オート選局

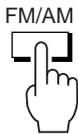
電波の強い放送局を自動的に探して受信します。



### 1 電源スイッチを押して電源を入れる



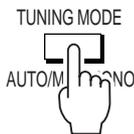
### 2 FM/AMキーでFMまたはAMを選ぶ



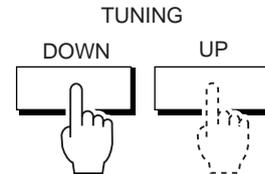
FM ↔ AM

押すたびにFMとAMが切り換わります。

### 3 チューニングモードキーを押してAUTOインジケータを点灯させる



### 4 チューニングキーのDOWNまたはUPを1回押す



現在の表示周波数よりも低い周波数の放送局を探すときはDOWNを、高い周波数の放送局を探すときはUPを押します。電波の強い放送局があると受信して止まります。

### 5 聞きたい放送局を受信するまで、手順4を繰り返す

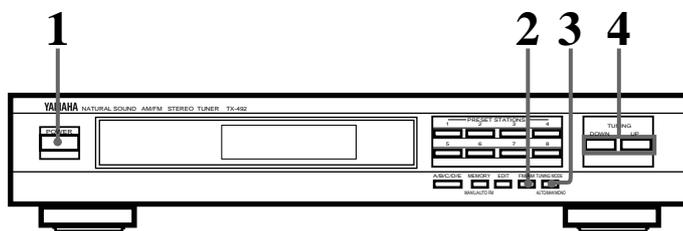
#### メモ

オート選局で受信できないときは、マニュアル選局で受信してください。(次頁参照)

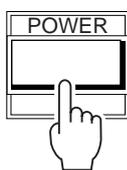
ステレオ受信時に雑音が多い場合は、マニュアル選局で受信してください。モノラル受信になりますが、雑音が減ります。

## マニュアル選局

電波の弱い放送局は、マニュアル選局で受信してください。ただし、ステレオ放送は、モノラルになります。



### 1 電源スイッチを押して電源を入れる



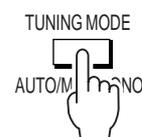
### 2 FM/AMキーでFMまたはAMを選ぶ



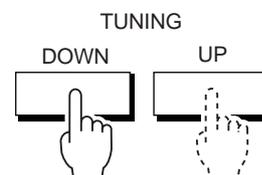
FM ↔ AM

押すたびにFMとAMが切り換わります。

### 3 チューニングモードキーを押してAUTOインジケータを消灯させる

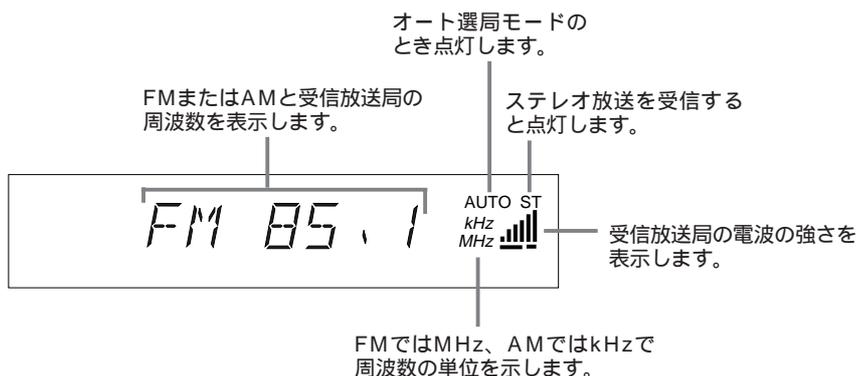


### 4 チューニングキーのDOWNまたはUPを押す



現在の表示周波数よりも低い周波数の放送局を探すときはDOWNを、高い周波数の放送局を探すときはUPを押します。1回押すと周波数が1ステップずつ上下し、押し続けると連続して上下します。

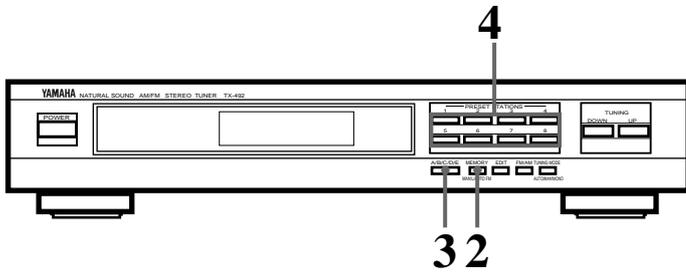
## 受信中のディスプレイについて



# プリセットのしかた

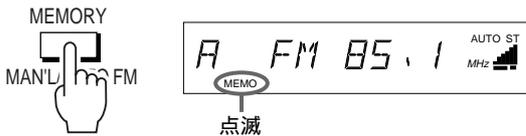
放送局をプリセット(メモリー)しておくと、簡単な操作で選局できます。40局(8局×5グループ)までプリセットできます。電波の弱い局や、よく聞く放送局だけをプリセットするには、マニュアルプリセットを使います。オートプリセットでは、電波の強いFM局だけを自動的にプリセットします。

## マニュアルプリセット



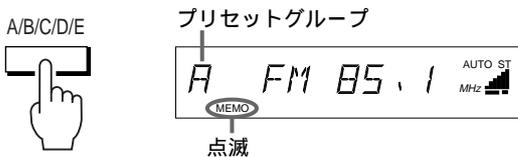
**1** オート選局またはマニュアル選局でメモリーしたい放送局を受信する  
8、9ページを参照してください。

**2** メモリーキーを押す



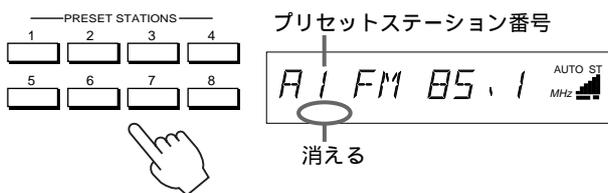
MEMOインジケーターが点滅します(5秒間)。MEMOインジケーターが点滅している間に、以下の手順3、4を行ってください。MEMOインジケーターが消えてしまった場合は、もう一度メモリーキーを押します。

**3** A/B/C/D/Eキーを押してプリセットグループを選ぶ



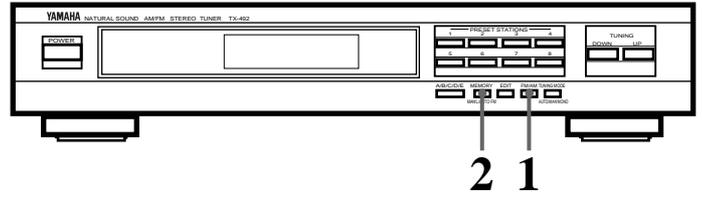
押すごとにA B C D E Aの順に切り換わります。

**4** プリセットステーション番号キー(1~8)を押して番号を選ぶ

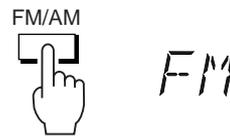


MEMOインジケーターが消え、1局のプリセットが完了です。手順1~4を繰り返してお好みの局をプリセットしてください。

## オートプリセット

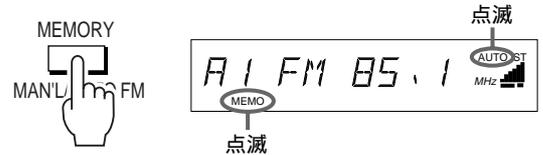


**1** FM/AMキーを押してFMを選ぶ



押すたびにFMとAMが切り換わります。

**2** メモリーキーを約3秒間押す

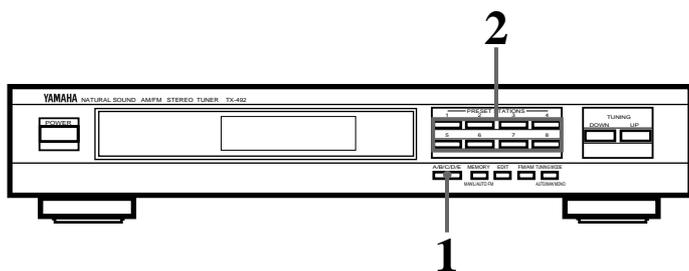


現在の表示周波数からオート選局が始まり、受信したFM放送局を次々にプリセットします。プリセットはA1、A2、..... A8、B1 ..... とABC順にE8までメモリーすると自動的に止まり、最後にプリセットした局を受信します。

### メモ

オートプリセットが終了したら、プリセット番号のA1から順に選んで、メモリー内容を確認してください。オートプリセットがE8(40局)に満たない場合は、全周波数帯域を一巡して止まります。何もプリセットできなかった場合は、全周波数帯域を一巡したあと、“NOTHING”を表示して止まります。オートプリセットは電波の強いFM放送局だけをメモリーします(AM放送局はメモリーできません)。メモリーしたい放送局の電波が弱くてオートプリセットできない場合は、マニュアルプリセットでメモリーしてください。マニュアルプリセット、オートプリセットで新しい放送局をメモリーすると、前にプリセットした局は消えて新しい放送局になります。放送局はプリセットしたときの受信モード(ステレオまたはモノラル)と選局モード(オートまたはモノラル)と共にメモリーされます。

## プリセット局を受信する



## メモリー保持について

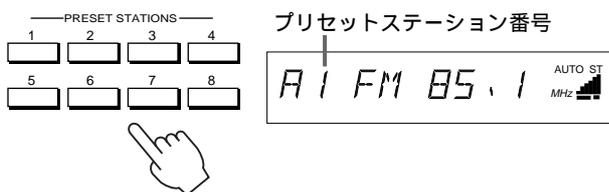
電源スイッチを切ったり、電源コードを電源コンセントから一時的に抜いても、メモリー内容は消えません。ただし、一週間以上電源コードを電源コンセントから抜いた場合、メモリー内容が消えることがあります。そのときは、再び放送局を記憶させてください。

### 1 A/B/C/D/Eキーを押してプリセットグループを選ぶ



押すごとにA B C D E Aの順に切り換わります。

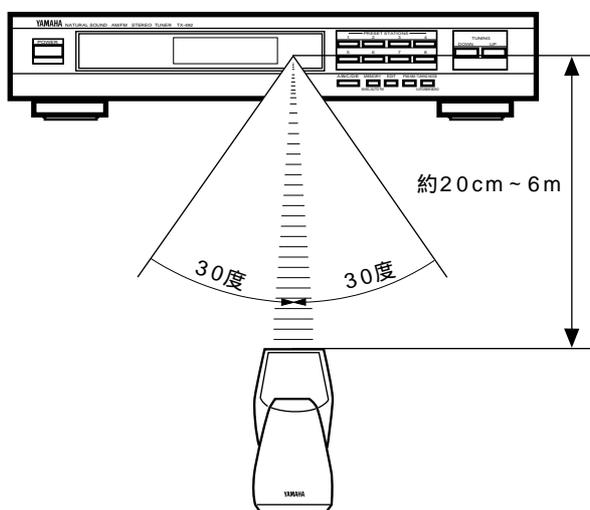
### 2 プリセットステーション番号キー(1~8)を押して番号を選ぶ



### リモコン操作について

ヤマハのAVアンプ(DSP-A592/A492、AX-892/592など)に付属のリモコンで、本機のプリセット局の受信ができます。リモコンは本機に向けて操作してください。

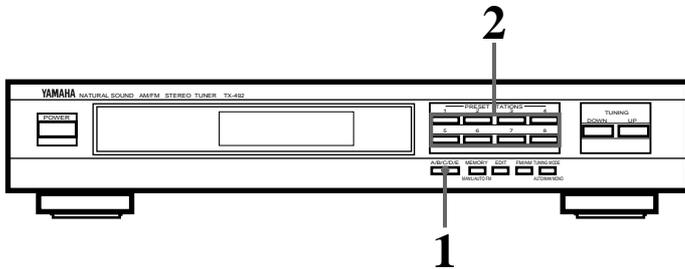
詳しくは、アンプの取扱説明書をご覧ください。



# プリセットのしかた

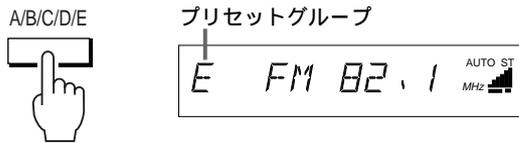
## プリセット局の入れかえ

プリセットした2つの放送局どうしを入れかえることができます。放送局を聞く頻度や、放送局のジャンルなどに応じて入れかえたりして、より操作性の良い使い方ができます。



例：E1の放送局をA5に、A5の放送局をE1に入れかえる場合

**1** A/B/C/D/Eキーを押してプリセットグループのEを選ぶ

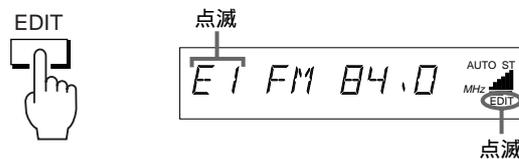


押すごとにA B C D E Aの順に切り換わります。

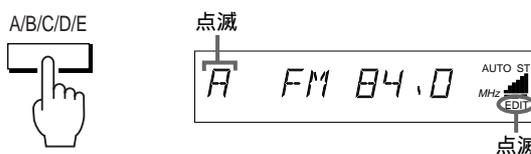
**2** プリセットステーション番号キーの1を押す



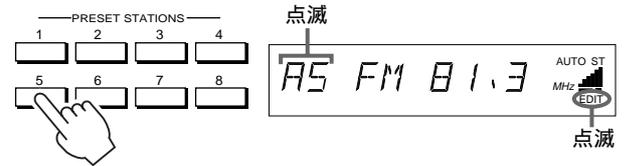
**3** EDITキーを押す



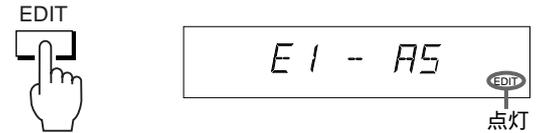
**4** A/B/C/D/Eキーを押してプリセットグループのAを選ぶ



**5** プリセットステーション番号キーの5を押す



**6** EDITキーを押す



放送局が入れかわったことを示す「E1 -- A5」を表示し、A5の周波数表示になります。

# 故障かなと思ったら

本機を使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しないとき、あるいは下記以外で何か異常が認められましたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点に、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

本機を使用中に強い外来ノイズ(落雷、過大な静電気など)を受けたり、誤った操作をした場合などに、本機が正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、本機の電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約30秒後に再びつないで操作し直してください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです	
FM 放送受信時	バリバリ、ガリガリという雑音がかきどき入る	バイクや自動車などのイグニッションノイズ サーモスタット付き電気器具の雑音	FM屋外アンテナをできるだけ高く、道路から離れた位置に設置し、同軸ケーブルを使用してください 雑音を出している電気器具に雑音防止器を取り付けてみてください
	ステレオ放送になると雑音が多く聞きづらい	FMステレオ放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力弱い場合に起こる	アンテナの接続を確認してください FM屋外アンテナを設置してください
	オート選局ができない		FM屋外アンテナを多素子のものにしてみてください マニュアル選局してください
	ステレオ放送受信時、STインジケータが点滅し、雑音が多い	アンテナ入力の不足	受信地域の電解強度に合ったアンテナを設置してください
		正しく選局されていない	再度選局してください
	FM屋外アンテナを設置してあるのに音が歪んで受信感が悪い	ある種の電波妨害	アンテナの設置場所をかえてください
	ステレオ放送なのにモノラル受信になってしまう	マニュアル選局モードになっている	チューニングモードキーを押してAUTOを点灯させてください
	プリセット選局ができない	メモリーが消えてしまった	再度プリセットしてください
AM 放送受信時	感度が悪い	電波が弱い、あるいはアンテナの接続が確実でない	AMループアンテナが背面のアンテナ端子に確実に接続してあるか、確認してください AMループアンテナの方向をかえてみてください マニュアル選局してください
	オート選局ができない		AM屋外アンテナを張ってみてください
	ジー、ザー、ガリガリなどの連続雑音が出る		空電や雷による雑音、または蛍光灯やサーモスタット付の電気器具による雑音
	ブンブン、ヒューヒューなどの雑音が、特に夜に出る	他の放送局の電波による干渉	対策は困難です
		本機の近くでテレビを使用している	テレビから本機を遠ざけてください

# 参考仕様

## FM部

受信周波数	76 ~ 90MHz
50dB SN感度 (IHF, 75 )	
MONO	1.55 $\mu$ V (15.1dBf)
STEREO	21 $\mu$ V (37.7dBf)
イメージ妨害比	40dB
IF妨害比	70dB
スプリアス妨害比	60dB
実行選択度	85dB
S/N比 (IHF)	
MONO	82dB
STEREO	76dB
歪率 (1kHz)	
MONO	0.1%
STEREO	0.2%
ステレオセパレーション (1kHz)	50dB
周波数特性 (30Hz ~ 13kHz)	0 $\pm$ 0.5dB

## AM部

受信周波数	531 ~ 1611kHz
実用感度	200 $\mu$ V/m
選択度	32dB
S/N比	50dB
イメージ妨害比	40dB
スプリアス妨害比	50dB
全高調波歪 (1kHz)	0.3%

## オーディオ部

出力レベル/インピーダンス	
FM (100%変調, 1kHz)	900mV/2.2k
AM (30%変調, 1kHz)	150mV/2.2k

## 総合

電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	7W
寸法(W×H×D)	435×86×278mm
重量	3.2kg
付属品	FM簡易アンテナ(1) AMループアンテナ(1) 出力コード(1)

\*仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## 保証期間

お買上げ日より1年間です。

## 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

## 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

## 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## 摩耗部品の一例

ポリウムコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口

AVお客様ご相談センター

TEL (03) 5488 - 5500

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道 〒064-0810 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内  
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7  
仙台卸商共同配送センター3F  
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184  
TEL (044) 434 - 3100

東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)  
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11  
TEL (03) 5488 - 6625

浜松 〒435-0048 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内  
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2  
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F  
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-1-16  
ヤマハ(株)千里丘センター内  
TEL (06) 877 - 5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14  
TEL (082) 874 - 3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内  
TEL (0878) 22 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4  
TEL (092) 472 - 2134

## 愛情点検



## 永年ご使用の本機の点検を！

### こんな症状はありませんか？

電源コード・プラグが異常に熱い。  
コゲくさい臭いがする。  
電源コードに深いキズが変形がある。  
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。  
電源を入れても正常に作動しない。  
その他の異常・故障がある。



### すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

## ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460 - 3451

品質保証室 TEL (053) 460 - 3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

**YAMAHA**